

UCHIKOCHI

Uchide no Koduchi

vol.
63

平成31年1月発行

特集

未来を拓く

地域未来牽引企業の取り組み



イベント・セミナー案内 P 2

特集 未来を拓く

地域未来牽引企業の取り組み P 3

ハヤミ工産(株) P 4

化研テック(株) P 6

(株)オーミック P 8

スマック(株) P10

(株)パルスパワー技術研究所 P12

プラザのお知らせ P14



公益財団法人

滋賀県産業支援プラザ

平成30年度 2、3月 イベント・セミナー案内

平成31年2月、3月に開催予定のイベント・セミナーの一覧です。掲載内容は予定であり、変更する場合があります。開催日の約1か月前から参加募集しますので、プラザのホームページ、またはメルマガをチェックしてください。

開催予定日	イベント・セミナー名	概要	担当課
1月21日(月) 2月4日(月) 2月18日(月)	ビジネスカフェ in 米原 まいばらデザインスクール (3回シリーズ) 18:30 ~ 21:00	<ul style="list-style-type: none"> ●会場: cafe&bar隣町パーラー (米原駅西口すぐ) ●定員: 20名 ●対象: これから事業を始めようとする方、会社経営者 等 ※詳細はP14をご参照ください <p>自社の商品や魅力がどこにあり、どう伝えると共感を呼び、結果として売れるのか、という「コンセプト」の作り方について具体的なケースで考える。</p>	創業支援課
2月1日(金)	公的資金制度説明会	<ul style="list-style-type: none"> ●会場: コラボしが21 3階 大会議室 ●定員: 80名 ●対象: 県内中小企業経営者、大学・公設試験等研究開発機構、産業支援機関関係者 等 <p>研究開発の促進を目指し効果的に公的資金制度を活用するため、国および関係機関等から最新の各種制度内容の情報提供を行う。</p>	ものづくり支援課
2月7日(木)	第15回 (平成30年度第2回) マッチングフォーラム	<ul style="list-style-type: none"> ●会場: コラボしが21 3階 大・中会議室 ●定員: 100名 ●対象: 県内中小企業経営者・技術開発者等、大学・公設試験等研究開発機構、産業支援機関関係者 等 ●特別講演: ローム株式会社社友(元常務取締役)高須 秀視 氏 ●講演: スマック株式会社 代表取締役社長 河原 定夫 氏 ●プレゼンテーション ●交流会 	ものづくり支援課
2月14日(木)	ビジネスカフェ 3分間プレゼン around 湖南 (今プラス)	<ul style="list-style-type: none"> ●会場: 今プラス ●定員: 25名 ●対象: これから事業を始めようとする方、起業に興味がある方、事業者各参加者が3分間で自身の事業内容や計画を発表し、交流会で交流を深める。 	創業支援課
2月14日(木) 2月15日(金)	近畿・四国合同広域商談会	<ul style="list-style-type: none"> ●会場: 京都パルスプラザ(京都府総合見本市会館) ●定員: 発注142企業、受注366企業 ●対象: 滋賀県、福井県、京都府、大阪府、兵庫県、和歌山県、鳥取県、徳島県、香川県、愛媛県、高知県に事業所を有し、発注企業の求める技術に対応している中小企業 <p>発注企業と受注企業との新規取引先開拓のための商談会を近畿(奈良県除く)・四国・鳥取県の11府県が合同で開催する。</p>	販路開拓課
2月21日(木)	元気な会社にはワケがある ～取材で見つけた「あいうえお経営」～	<ul style="list-style-type: none"> ●会場: コラボしが21 3階 大会議室 ●対象: 県内中小企業・小規模事業者・支援機関 ※詳細はP19をご参照ください <p>「日本一明るい経済新聞」の発行と毎日放送ラジオで人気の竹原信夫氏にお越しいただき、明るい経営のノウハウを紹介する。</p>	よろず支援拠点
2月26日(火)	今こそ知っておきたい 海外展開のための最新情報と 実務セミナー	<ul style="list-style-type: none"> ●会場: コラボしが21 3階 中会議室 ●対象: 中小企業の経営者、実務担当者、海外ビジネスを行う小規模事業者の経営者 <p>各自自由協定の基礎・最新状況の再確認や、関税低減のメリット享受の方法など、これからの海外ビジネス展開に必須の情報をやさしく解説する。</p>	よろず支援拠点
2月26日(火)	しが医工連携 ものづくりネットワーク会議	<ul style="list-style-type: none"> ●会場: コラボしが21 3階 大会議室 ※詳細はP15をご参照ください <p>医療・健康管理機器の開発に取り組む企業等や大学・研究機関、行政・支援機関等により「しが医工連携ものづくりネットワーク」を組織し、講演会・交流会の開催、産学官交流や研究開発グループ結成に向けた情報交換等を行う。</p>	医工・成長産業振興課
3月5日(火)	人手不足対策セミナー ～実践的成功事例からみる 人手不足対策のヒント～	<ul style="list-style-type: none"> ●会場: コラボしが21 3階 ミーティングルーム ●対象: 県内中小企業・小規模事業者 <p>人手不足対策の考え方を整理し、実践的な対応方法などを説明する。</p>	よろず支援拠点
3月中旬	第6回医療機器開発セミナー	<p>新たな医療機器開発に意欲的な企業を対象とし、医療機器開発のための実践的な知識を学ぶ。</p> <p>各回のセミナーでは特定のテーマを取り上げ、医療者テーマに応じた疾患と治療方法、使用する機器等について説明するほか、今後求められる治療や必要となる機器等について意見交換等を行う。</p>	医工・成長産業振興課



～地域未来牽引企業の取り組み～

特集

未来を拓く

経済産業省は一昨年と昨年の12月、地域経済への影響力が大きく、成長性が見込まれるとともに、地域経済のバリューチェーンの中心的な担い手として期待される企業を、「地域未来牽引企業」として選定しました。

地域内外の取引実態や雇用・売上高を勘案し、定量的な指標に加え、自治体や商工団体、金融機関等の関係者からの推薦により、外部有識者委員会の検討も踏まえて選定されたもので、滋賀県からは以下の通り79社が選ばれました。これらの企業に着目し、事業内容や今後の取り組みについてご紹介します。

滋賀県の「地域未来牽引企業」79社 (50音順)

(株)アイ.エス.テイ	(株)アイテス	(株)アルナ矢野特車
(株)市金工業社	近江鍛工(株)	近江度量衡(株)
(株)近江物産	近江ユニキャリア販売(株)	(株)大木工藝
(株)オーケーエム	大塚産業マテリアル(株)	大津観光(株)
(株)オーミック	オリベスト(株)	化研テック(株)
堅田電機(株)	(株)Kamogawa	(株)木下カンセー
Kyoto Robotics(株)(旧 三次元メディア)	近畿精工(株)	キンキダンボール(株)
草津電機(株)	(株)クリスタル光学	光亜興産(株)
甲西高周波工業(株)	(株)コーガアイソトープ	(株)ゴーシュー
湖北工業(株)	湖北精工(株)	サイチ工業(株)
(株)笹川組	(株)佐藤医科器械製作所	(有)澤井牧場
三恵工業(株)	(株)清水合金製作所	(株)ジャッカル
(株)昭建	新旭電子工業(株)	(株)人機一体
新江州(株)	(株)シンセイ	新生化学工業(株)
スマック(株)	センカ(株)	高島晒協業組合
高橋金属(株)	(株)たねや	ツジコー(株)
東洋化学(株)	東洋産業(株)	(株)中谷組
(株)ナンガ	日光化成(株)	日伸工業(株)
日新薬品工業(株)	日本黒鉛工業(株)	日本ソフト開発(株)
能勢鋼材(株)	(株)はたけのみかた	(株)ハヤシ
ハヤミ工産(株)	原馬化成(株)	(株)パルスパワー技術研究所
(株)パンテック	(株)比叡ゆば本舗ゆば八	日野精機(株)
(株)日吉	(株)ヒラカワ	(株)フジックス
フジノ食品(株)	(株)ミヤジマ	(株)山崎機械製作所
(株)山崎砂利商店	山科精器(株)	洛東化成工業(株)
(有)竜王興産	(株)緑水亭	(株)麗光
ワボウ電子(株)		

未来を拓く

地域未来牽引企業
の取り組み

速水 一生さん

は
や
み
工
業
株
式
有
限
公
司
代
表
取
締
役
社
長

ハヤミ工業株式会社

ハイテク繊維とAVファニチャーで ニーズをかたちに

古くから湖北の宿場町として栄えてきた木之本は、良質な生糸の生産地としても知られ、今でも昔ながらの手法で三味線や琴など和楽器糸を作るメーカーが残っている。そんな地域特性を地盤に、ハイテク繊維を用いた機能性組紐「スーパーコード®」の開発・製造を行っているのがハヤミ工業。楽器糸から新素材ロープ、そしてオーディオ・ビジュアル(AV)ファニチャーブランド「ハミレックス」へと事業を拡げ、いずれも自ら販売ルートを開拓してきた。創業以来のコア技術を軸に高付加価値化を図りつつ、時の流れに合わせて事業を変化させ発展してきた同社は、地域に生きる企業として多くのことを教えている。

ハヤミ工業株式会社

- 代表者/
代表取締役社長 速水一生
- 従業員数 / 97名
- 住所 / 本社
滋賀県長浜市木之本町黒田313-2
- 創業 / 1927年
- 業務内容 / ハイテク繊維を利用した各種産業用ロープの製造販売、家庭用・オフィス用AVファニチャーの開発・販売

- TEL / 0749-82-4334
- URL / <http://www.hayami.co.jp/>



機能性・デザイン性など付加価値を追求したAVファニチャーブランド「ハミレックス」

▶ 24時間稼働している本社工場
仕入れた原糸に撚りをかけ、
ポビンに巻き、
組み紐状にしていく



※滋賀県中小企業経営基盤・技術向上等研究会

産業支援プラザが事務局となり、経営課題の解決および人材育成を図ることを目的として、主に県内の中小製造業の若手経営者を対象とする研究会を開催しています。会員相互の技術向上や自立化の啓発を通じ、ネットワーク形成に結びつけることによって、会員の経営基盤の向上を目指します。

楽器から人工衛星まで

——創業は昭和2年と伺いました

当初、祖父が始めたのはラジオ店でした。といってもいまの電気店とは少し違い、店先でラジオを組み立て、その場で売るといったものだったようです。そのころ、ラジオのダイヤルで可変コンデンサを回すために使われるコード(紐)には、滑らず伸びない生糸が最適といわれていました。木之本は昔から生糸の産地ですから、材料もすぐに手に入ったのでしょう。

戦後すぐ、三味線や琴といった楽器用の糸や「ハミロン」のブランド名でダイヤルコードの製造を始め、昭和29年「速水楽器糸株式会社」を設立。当時、楽器糸の専門メーカーは少なく、ダイヤルコードとあわせて全国に行商で販路を広げていったそうです。

——現在は用途が広がっていますね

1970年代にはデュポン社の「ケブラー®」に代表される引張強度に優れた合成繊維が普及し、当社も生糸から化繊を使った新素材へ製品を拡大してきました。現在では「スーパーコード」と呼ばれるハイテク繊維を使った高性能ロープの開発・製造を手掛けています。携帯ストラップからエアコンカバーの落下防止ワイヤなど家電製品、インテリア、釣糸や自動車、産業機械部品など幅広い分野に使われていて、特殊なものでは人工衛星の太陽電池パネルなどでも当社製品が採用されています。

ハミロンは売り上げの9割が受注生産で、木之本の本社工場で製造しています。お客様の用途にあわせてその都度、糸の種類や組み方を変えるので製品数はまさに無限大といえます。



家電や自動車をはじめ人工衛星にも使われている同社の「スーパーコード®」

糸からオーディオへ

——事業のもう一つの柱にAVファニチャーがありますね

昭和41年からハミロンの技術を生かしてスピーカーの前面に貼るネットの生産をスタートし、浜松の木工会社に納めていたんです。その会社と共同でオリジナル商品を開発しようということになり、AVラックを手掛けるようになりました。ちょうど当時はオーディオブームで、アンプやチューナーなどが別になったコンポーネントステレオが人気でした。そこからコンポ用ラックやテレビ台、業務用ラックなどに種類を広げていき、「ハミレックス」というブランドで企画・販売を開始しました。現在、売り上げ構成比はAVファニチャー9割、繊維関連は1割で、ラック類の製造拠点は国内に限らず、早くから海外の協力工場でも生産しており、今では仕入れ金額の2/3を占めています。



コンパクトタイプからワイドタイプまで網羅したフラッグシップモデル「アレン」シリーズ

——独自の販売ルートをお持ちとか

販売についてはハミロンと同じく、早くから全国各地に自社で営業をかけ、中間マージンのない直売を基本としてきました。特に当社では早くから大型家電量販店と直接取引をしており、汎用性のある商品という位置づけで販売店様の在庫リスクの低減、また価格比較の厳しいテレビだけでなくレコーダー、スタンドなどを含めたセット販売をしていただくことで、売上・利益増加に貢献しています。

しかし、テレビの背面形状や端子位置によっては、スタンドや金具に取り付けできない場合があり、改めて違う商品を手配しなくてはならず、販売店様やエンドユーザー様に時間的、人的にご迷惑をかけてしまいます。そこで当社では、テレビの新機種が出るたびに採寸調査してラックに取り付けができるかを確認しています。こうした、安心して販売していただくための地道な取り組みもあって、販売店様から高い評価をいただいています。

付加価値を生み出す開発力

——地域の資産をうまく活用されていますね

生糸という地場産業から出発し、地元で時代の変化に合わせて事業を発展させてきたこと、また地域での雇用などを高く評価いただき、地域未来牽引企業に選出いただくことができました。これからは人材不足の時代に入ることを念頭に、休日を増やすなど福利厚生に力を入れて会社の魅力度を高めようとしているところですので、今回の選定も当社の企業価値をアピールする客観的な評価のひとつとして、さまざまなかたちで打ち出していきたいと思っています。

地元の企業との交流も大切にしています。プラザさん主催の滋賀県中小企業経営基盤・技術向上等研究会※に参加しており、工場見学や経営状況などもお話しただけのうえに、業界を越えた横のつながりも生まれ、本音で本当に困っていることを共有できるのでとても役立っています。

——これからの展望は

ハミロン事業部では技術継承の一方で自動化、省力化を進めています。また電気自動車の開発が進み、これまでの金属製ワイヤから、軽量で絶縁性に優れた繊維ロープに置き換えられはじめています。複雑な工程のものを多品種つくることができる当社の開発力で、ぜひチャンスをつかんでいきたいと思っています。また、ハミレックス事業部では家庭用ラックの市場は4K放送が始まり、東京オリンピックでの盛り上がりにも期待できますが、より付加価値の高い業務用製品の開発・販売を強化していきたいと思っています。

私たちは創業時から原糸を“kg”で仕入れ“m”で売ってきました。単位を変えるということはすなわち付加価値を生み出す第一歩。いつも敏感にニーズをとらえ、付加価値を創出することこそ、当社が生きていく手だてだと考えています。



ディスプレイスタンド、壁掛・天吊金具など業務用製品に今後の成長を期待

問い合わせ先

(公財)滋賀県産業支援プラザ

経営支援部 販路開拓課 担当/船越

☎ 077-511-1413

☎ 077-511-1418

✉ hanro@shigaplaza.or.jp

未来を拓く

地域未来牽引企業
の取り組み

堀 薫夫 さん 代表取締役社長 化研テック株式会社



フラックス洗浄の新技术で 勝ち取った販路と信頼

半導体などエレクトロニクス製品において欠かすことのできないはんだ付け。部品を回路に接合するには表面から異物や酸化膜を除去する必要がある、フラックス

と呼ばれる活性剤が用いられる。フラックスは接合後、洗浄・除去することが望ましいが、これにはかつてフロン類が大量に用いられていた。環境保全のため代替技術が求められるなか、まったく新しい発想でフラックス洗浄の技術を開発したのが化研テックだ。日野にある製造・開発拠点では、日々新技術への挑戦が続けられている。



電子回路や部品、印刷版、各種金属、樹脂加工品などの洗浄剤を独自に開発・製造販売している

化研テック株式会社

- 代表者/
代表取締役社長 堀 薫夫
- 従業員数 / 84名
- 住所 / 滋賀工場・技術開発研究所
滋賀県蒲生郡日野町大字北脇
日野第二工業団地3-1-3
- 創業 / 1963年
- 業務内容 / エレクトロニクス用洗浄剤・洗浄装置・導電性接着剤、自動車塗装工程用機能性ケミカルス、印刷工程用機能性ケミカルスなどの製造・研究・販売
- TEL / 072-894-2590
(本社 / 大阪府交野市)
- URL / <http://www.kaken-tech.co.jp/>



滋賀工場には技術開発研究所が併設され、洗浄システムの開発・製造がおこなわれているほか、新素材の研究も進められている

※サポイン事業

戦略的基盤技術高度化支援事業(サポイン事業)は、デザイン開発、精密加工等の特定ものづくり基盤技術12分野の向上につながる研究開発、試作等の取組みを、国が支援する制度です。産業支援プラザでは、本事業に挑戦する企業等のプロジェクト構築から公募申請、および事業管理までの支援を一貫して行っています。

フロンに替わる新技術

—— 創業時は別業態だったそうですね

昭和38年に父が創業したころはシンナーなどの溶剤を販売していました。ところが当時は品質クレームが多く「納得いくものを自分で造って売ろう」と昭和55年に滋賀に研究所と工場をつつたのがメーカーとしての始まりです。最盛期には売上が10億円にまで成長しました。

次男の私は跡を継ぐ気はなく、大学では好きな化学を専攻し、大手化学メーカーに就職しました。営業から研究、新事業の開拓などを経験させてもらい、やりがいを感じていた矢先、兄が建築の道へ進み、跡を継がないことになり私が呼び戻されたんです。ただ、溶剤の製造販売だけでは付加価値が低く、価格競争は避けられません。しかも、当時の溶剤業界というのは典型的な3Kで、正直に言って魅力も将来性も感じなかった。そこで研究開発型の会社にするのを条件に跡を継ぐことを決めました。

—— フラックス洗浄に着目されたのは？

以前の会社で電子業界を担当していた当時、電子基板のフラックス洗浄でフロンが急速に普及し始め、気になっていました。そこでよく調査すると、フロンは不燃性で安全性が高く非常に便利な洗浄剤でしたが、フラックスに対する洗浄性は不十分であることがわかりました。私は、将来、電子基板がもっと小型化、高性能化した時、フロン洗浄では信頼性を確保できなくなると考え、日本で一番早く、フロンに替わる高信頼性の洗浄剤の開発に着手しました。

そんななかフロンのオゾン層破壊が問題になり、代替手段を各社が模索しはじめます。大半の企業は溶剤系で洗浄後に水でリンスする方式でしたが、私は回路の信頼性確保を重視し、水ではなく、水とアルコールを特殊な割合で配合した、まったく新しいリンス剤を考案しました。水リンスのように洗浄剤に界面活性剤などを加えなくてもはるかにすすぎ性、乾燥性に優れ、錆びにくく、しか

も微生物汚染を防ぐ抗菌作用もあります。そこで、このアイデアを製品にするため、以前勤めていた会社の同期の人に開発リーダーとして来てもらい、私は顧客開拓に専念しました。

中小企業が信頼を得るために

—— 成果はいかがでしたか？

自信をもって売り込んだものの散々でした。日本の社会では無名の中小企業はまったく相手にされず、名刺すら受け取ってもらえない日々が続きました。5年目によくやうく当社の技術に注目してくれる松下(現パナソニック)グループの会社が現れ、テストで最も高い評価を得ました。

ところが決定の段になってテストでは二番手だった大手企業を採用するというではないですか。「万一品質不良を出したら小さな会社が責任をとれるのか？」というのが理由です。これには頭にきてしまい、松下幸之助の本を愛読していた私は「松下も元は無名の小企業だったんですよ。小企業というだけで優れた製品を排除するとは幸之助さんが聞いたら激怒しますよ!」と幹部社員らに啖呵を切って、その場は引き上げました。すると一月後に再び呼び出され「化研テックと心中する覚悟で採用する」と告げられます。もちろん心中に至ることなく順調に業績を伸ばし、この取引を機に顧客が広がっていきました。

—— 洗浄装置も手掛けておられますね

洗浄剤メーカーは大手が主流で、洗浄装置メーカーは、大手の洗浄剤に合わせた専用装置を造っていました。しかし、無名の小企業である当社のために装置製造を引き受けるところはなく、仕方なく手



探りで自社開発したのが始まりでした。ただ、洗浄剤と装置を一体的に開発することで洗浄能力を最大限に引き出すことができ、また、お客様にとっても当社に依頼すればワンストップで済むため、全てトータルシステムで対応できることが当社の大きな強みになりました。現在、売上の7割が洗浄剤と洗浄装置関連で、3割が塗装、印刷関連となっています。

研究開発型企业として

—— 今後の展望をお聞かせください

いまは約4割が研究開発人員で、売上の10数%を研究開発に当てており、中小企業としては非常に高い比率です。

平成26年からのサポイン事業*では、特殊形状の銀粉を用いた導電性ペーストの開発が採択されました。これは毬栗状の数マイクロサイズの銀粉の開発により、既存の球状銀粉に比べ少ない量の銀粉で高い導電性を可能にしたもので、安価かつ軽量化することができます。サポインに採択されたおかげで欲しかった高性能な試験機器も揃えることができました。ただ、導電性ペーストを手がけているのは大手メーカーが多く、後発の当社が入り込んでいくには相当の投資と研究開発が必要なため、収益を支える事業になるにはまだ数年以上かかりそうです。現在はチューブ状にして1本単位でネットで買えるようにするなど、販売面の工夫により徐々に採用が増えています。

洗浄装置の自社開発においては、もともと機械メーカーではないこともあり、専門企業と比べるとまだまだ課題も多くのぶん伸びしろが大きいと期待しています。地域未来牽引企業に選んでいただいたことをきっかけに、グローバルトップを目指し、さらなる飛躍に向けて、開発力を高めていきたいと思えます。



▲世界初の毬栗状銀粉を開発し、少ない量で導電性を高めた導電性銀ペースト「TKペースト」はサポイン事業に採択された

◀フラックス洗浄剤だけでなく洗浄装置を一体化し開発・製造しているのが強み
写真はマイクロクリーナー MC3HD-1.5E

問い合わせ先

(公財)滋賀県産業支援プラザ

連携推進部 ものづくり支援課 担当/熱田、草間

☎ 077-511-1414

☎ 077-511-1418

✉ shin@shigaplaza.or.jp

未来を拓く

地域未来牽引企業
の取り組み

神谷 廣幸さん

代表取締役会長

株式会社オーミック

株式会社オーミック

- 代表者/
代表取締役会長 神谷廣幸
取締役社長 佐藤徹
- 従業員数 / 85名
- 住所 / 本社工場
滋賀県栗東市辻600-1
- 創業 / 1972年
- 業務内容 / 高度管理医療機器製造販売、
通信関連部品製造、半導体関連部品製造、
産業用部品製造、工場設備・機械・機器・
工具等販売
- TEL / 077-554-1871
- URL / <http://www.omic-corp.co.jp/>



難切削材の加工技術で 医療機器の完成品メーカーへ



骨折箇所を接合するために
骨髄内に挿入する棒状の
固定材「プレート」と特殊なピン類

長寿社会のなかで、要介護となるきっかけの一つに骨折が挙げられる。とくに骨粗しょう症の人は大腿骨の摩耗や骨折を起こすことが多く、寝たきりの原因にもなるため、手術による早期治療を行う人が増えているという。そのなかでオーミックは大腿骨の手術に使われるインプラント(体内に埋め込まれる器具)を中心に、手術用機器などの開発・製造によって業績を伸ばしてきた。長年培われた難切削材に対する優れた加工技術は宇宙ロケットにも用いられており、そのノウハウには医療業界からも大きな期待が寄せられている。



医療機器は手術室と同等クラスのクリーンルームでつくられている



ワイヤ放電加工の準備風景
強みの難切削材の加工技術は現在も進化を続ける

※サポイン事業

戦略的基盤技術高度化支援事業(サポイン事業)は、デザイン開発、精密加工等の特定ものづくり基盤技術12分野の向上につながる研究開発、試作等の取組みを、国が支援する制度です。産業支援プラザでは、本事業に挑戦する企業等のプロジェクト構築から公募申請、および事業管理までの支援を一貫して行っています。

電子部品から 宇宙、医療の世界へ

—— 創業時の事業内容は？

昭和38年に栗東で機械工具専門の商社「鳳産業」を設立したのが創業の第一歩でした。その製作部門として昭和47年に立ち上げたのがオーミックの前身となる「三光製作所」です。はじめは機械工具の補修部品などをつくるサービス部門のような位置づけでしたが、その後大手メーカーの外注先としていろいろな部品の注文をいただくようになりました。とくに、やわらかすぎて切削が難しい純銅やコパール(鉄にニッケルとコバルトを混ぜた合金)といった難切削材の加工を得意としていたことで、電子部品の分野で成長することができました。

—— 医療機器に携わるきっかけは？

当時は大手精密機器メーカーの100%下請けだったのですが、同業他社と同じものを受注生産するだけでは価格競争になります。そこで親会社に「部品ではなく、その部品を使った製品を設計から任せてもらえれば、もっと安いコストで仕様通りのものをつくれます」と掛け合いました。要望が通り、実績を積んでいくにつれて半導体や原子力、宇宙開発に関わる産業用機器など、より高度な加工技術が必要となる分野に携わるようになりました。とくにインプラントをふくむ医療機器の受託加工を手掛けたことが、いまの事業展開の礎になっています。

医療機器メーカーへの転換

—— 現在は自社でオリジナル製品の 開発製造を手掛けておられますね

きっかけはITバブルの崩壊で大打撃を受けたことでした。増産要請を受けて生産設備を増強した矢先、まだ設備が納入れもされていない時にバブルが崩壊し、親会社からの受注が20%程度に激減。「自

力でがんばってほしい」と通告され、眠れぬ夜が続きました。依願退職をはじめ余剰設備を中古市場で現金化するなど、苦肉の策で辛くも倒産の危機を乗り切ることができました。この時、当社がもてる技術を生かして下請けから脱することを決断しました。

—— インプラントに注目された訳は？

当時、親会社からは、電子部品・光通信部品・産業用部品(宇宙・原子力等)・人工関節関連医療機器の四つの部門で取引がありました。今後の当社の方向性を定めるにあたって、当社の得意分野である難切削材の3D加工技術をもとに、欧米からの輸入品が80%強と市場を席巻する医療器具関連業界で、「ものづくりニッポン」の沽券にかけて国産化率向上にチャレンジすることを決心しました。そして、そこにビジネスチャンスが必ずあると確信しました。ただ、医療機器は開発に時間がかかるうえ、さまざまな許認可が必要なため、自社ブランドで製品を上市するまでに10年を要しました。

また、当社はものづくりに専念することとし、販売は専門のパートナーに担当していただく体制を確立。良きパートナーに恵まれ、今日があります。



わずかな削り残しも許されないインプラント製品

使う人の目線で開発を

—— 開発でご苦労された点は？

インプラントは患者の体内に入れるので、海外メーカーも日本人の体格に合わせて設計しています。ただし、それを体内に固定するデバイス(手術用装置)は標

準品のままなのです。骨に穴を開けたり、位置を合わせる重要な道具が、欧米人の体格を基準に造られたものでは使い辛いのは当然です。小柄な日本人に合ったコンパクトで使いやすい道具があれば、手術時間を短縮でき、患者や医師の負担が減るとともに病院のコストも下がります。当社はもともと工具を扱っていたので、使う人の立場で「使いやすい道具」を地道に追求してきた実績があります。その蓄積を活かし、医療現場の声を聴きながら、日本人向けに開発したオリジナル製品が、インプラントとデバイスをキットにした「OMフェモラルネイル」です。

それまでは輸入品をコピーした製品が多かったため、当社は手術時に手になじむ使いやすいデバイスの開発に固執してきました。その結果、他社にない独創性が評価され過去四度のグッドデザイン賞を受賞しています。



インプラントと手術に必要なデバイスをワンセットにした「OMフェモラルネイル」

—— 今後の取り組みをお聞かせください

技術開発にさらに力を入れていきます。平成22年のサポイン事業※で研究開発を行った表面処理技術は、製品の一部で活用が進んでおり、現在、2回目のサポイン事業に取り組んでいます。インプラント市場は、新素材革命が起きつつあり、新しい技術で競争力のあるアイテムを広げていくことが今後の成長には不可欠です。

これから、ますます拡大が期待される医療機器分野で事業を発展させながら、地域未来牽引企業として、明日の滋賀をリードしていけるような力をつけていければ幸いです。

問い合わせ先

(公財)滋賀県産業支援プラザ

連携推進部 ものづくり支援課 担当/熱田、草間

☎ 077-511-1414

☎ 077-511-1418

✉ shin@shigaplaza.or.jp

未来を拓く

地域未来牽引企業
の取り組み

河原 定夫さん

代表取締役社長
スマック株式会社



独自のモータ制御技術で 環境社会をめざす

環境問題がクローズアップされるいま、消費電力を抑えるための技術は急速に進化を遂げている。なかでも家電から自動車、産業機械までさまざまなものを電気で動かすモータの分野で、省エネ駆動制御や高効率電力変換器を開発・製造するの



がスマックだ。強みのモータ制御技術でメーカーの製品開発を効率化させる画期的な技術を生み出し、エネルギーを「つくる・ためる・減らす」の3つの事業を通じて環境共生社会の実現をめざしている。

近年では営業にも力を入れ、国内だけでなく海外の展示会への出展などで技術力をアピールしている



パナソニック時代からの人脈や関連企業のある滋賀が開発の拠点

スマック株式会社

■代表者/
代表取締役社長 河原 定夫

■従業員数 / 30名

■住所 / 開発センター
滋賀県大津市木下町18-8
浜大津アネックスビル

■創業 / 2003年

■業務内容 / パワーエレクトロニクス機器の
開発・量産供給、開発ツールの製造販売、
技術支援および技術コンサルティング事業

■TEL / 077-526-8815

■URL / <http://www.smach.jp>



※1 サポイン事業 6ページ下欄の注釈を参照

※2 滋賀県立テクノファクトリー テクノファクトリーは、独創的な技術を有する方が、その研究開発の成果を利用して新製品の試作や製造に係る技術の開発および改良を行うことを支援することにより、県内産業の振興を図ることを目的とした賃貸型工場施設です。産業支援プラザが滋賀県から指定を受け管理・運営しています。

社内ベンチャーからの起業

—— 起業されたきっかけは？

私がパナソニックの草津の事業場で技術開発に携わっていたときのことで、環境問題に取り組む機運が高まるなかで、冷凍車のメーカーから「アイドリングストップしても冷却できるシステムを開発してほしい」と相談がもち掛けられました。荷室を冷やすコンプレッサーは動力をエンジンから引いており、エンジンを切ると冷却が止まってしまう。食品や薬品メーカーのなかには温度変動を±1℃しか許容しないところもあり、現状ではアイドリングストップができないというのです。

ただ、調べてみると非常にニッチな市場のため開発投資しても回収は難しく、大手メーカーは手が出せないのが実情でした。しかし、小さな市場だからやらないというのでは、真の環境配慮社会は生まれません。そんな葛藤を抱えているときに、社内ベンチャー制度が立ち上がり、応募することにしたのです。

—— 狭き門だったそうですね

予備審査の通過率は10%だったうえに、審査に通ればもとの部署には戻れず、退社も覚悟のうえの片道切符です。パナソニックの100%子会社としてなんとか無事に創業できたのは2003年。パナソニックの資本を離れて独立し、第二の創業をスタートさせたのは2013年のことでした。現在は、協力会社や人脈がある滋賀を拠点に、大津に開発センター、草津の滋賀県立テクノファクトリー内に評価センターを置いています。



テクノファクトリーでは大手メーカーにもない高精度のモータ試験装置がフル稼働している

ほかにはない オンリーワンの技術

—— 主な事業内容をお聞かせください

モータの駆動制御や電力変換において、省エネ・高効率化のための製品・技術開発を行っています。具体的には、電源の交流(AC)・直流(DC)を変換するコンバータや、交流の周波数を変えるインバータなどを手掛けています。

たとえば、エアコンで常時快適な温度を保ち、かつ省エネ運転をするためには、電源の周波数を自在に変えることができるインバータが必要になります。モータの回転数というのは周波数で決まるため、仮に50ヘルツの電源ではモータは毎秒50回転します。これを電源のオン・オフだけでコントロールしようとすると、適温調節が難しいうえにオンとオフを繰り返すことでエネルギー効率が悪くなります。そこで、インバータを用いて周波数を上げたり下げたりすれば、モータの回転数も自在に調整でき、省エネ運転も可能になるというわけです。この変換器などを用途に応じて開発したり、モータの開発支援を行うのが当社の中心事業になっています。

現在は自動車メーカーなどが主な顧客で、電気自動車や水素自動車などのインバータやモータの開発支援を行っているほか、電気自動車と住宅の相互から電力を供給し合える双方向コンバータなども開発しています。

—— 独自の技術をおもちだそうですね

とくに高い評価をいただいているのが、当社の技術を結集した「ユニバーサルインバータドライバ」です。通常、企業が新製品のために新しくモータを開発する場合、その用途・性能にあわせて専用のインバータも同時につくらねばなりません。モータを最適駆動させるためにインバータの設定を変更して試験を繰り返す必要があり、多くの労力を要します。

ところが、この製品はあらゆるモータの特性に最適なインバータの設定値を非常に効率的に見つけることができるため、企業の開発速度を飛躍的に早め、短納期・省コストを可能にします。



あらゆるモータの特性に最適化できるよう、ソフトとともに開発されたユニバーサルインバータドライバは同社のオンリーワン技術

環境先進県・滋賀の 担い手として

—— 今後の展望をお聞かせください

現在、サポイン事業^{*1}として、電気自動車の開発のなかで実車試験を不要にする台上モータ駆動システム評価装置の開発を進めています。また草津のテクノファクトリー^{*2}では大手でも持っていないような高精度のモータ試験装置で試験を行っており、自動車や電機をはじめ大手メーカーからたくさんの依頼をいただいています。

しかし、現在、当社の売上の多くを占める開発支援は、利益率は大きいものの需要が不安定な点が課題です。一方、ユニバーサルインバータドライバなど製品の製造販売は一度軌道に乗れば安定的に売上を確保することができるため、今後は量産供給を伸ばしながら、開発支援の幅を広げていきたいと考えています。また、AI搭載モータの制御技術など、新技術にも挑戦していかねばなりません。

また、環境社会づくりに向けて中国やインドなど環境後進国への技術支援も視野に入れていく必要があるでしょう。地域未来牽引企業に選んでいただいたことも踏まえ、地元企業ともさらに結びつきを広げて共存共栄をめざし、環境先進県・滋賀をアピールしていく一助になれば幸いです。

問い合わせ先

(公財)滋賀県産業支援プラザ

経営支援部 創業支援課 担当/川口

☎ 077-511-1412

☎ 077-511-1418

✉ in@shigaplaza.or.jp

未来を拓く

地域未来牽引企業
の取り組み

とくち
徳地
あきら
明さん

代表取締役

株式会社
パルスパワー
技術研究所



世界トップレベルの技術で 新たな社会ニーズの創出へ

電気エネルギーは、極めて短い時間の間に放出すると、瞬間的に強大な電力を発生することができる。家庭用の1キロワットの電気ストーブは、1秒間に1キロジュールの電気エネルギーを消費しているが、同じ1キロジュールを1億分の1秒間に放出すると、世界の総発電力に匹敵する電力が発生する。パルスパワーと呼ばれるこの超大電力を名に冠したパルスパワー技術研究所は、世界トップレベルの技術で、医療や環境、宇宙開発など多くの産業分野から注目を集めている。

株式会社パルスパワー研究所

- 代表者/
代表取締役社長 徳地 明
- 従業員数 / 10名
- 住所 / 草津ファクトリー
滋賀県草津市野路東7丁目3-46
滋賀県立テクノファクトリー 2号棟
- 創業 / 2009年
- 業務内容 / 高電圧パルスパワー電源、
電源制御カスタム製品の研究・開発・製造

■TEL / 077-598-1470
■URL / <http://www.mypj.com>



海外の技術情報の収集にも努め、常に世界トップの技術レベルをめざす



これまで学会発表などを機に顧客を開拓してきたが、2018年9月には中国の展示会へ全社を挙げて参加した

※1 創業オフィス 「コラボしが21インキュベーション」事業の一環で、起業家と共に考え、行動する支援施設です。単なる賃貸施設とは異なり、起業家の成長段階に応じた支援を受けることができ、創業・起業家のための学びの場を提供するほか、インキュベーション・マネージャーによるサポートを受けることができます。これから創業する方、創業後間もない方、第二創業で新事業に挑戦する方をサポートします。

※2 滋賀県立テクノファクトリー 10ページ下欄の注釈を参照

※3 サポイン事業 6ページ下欄の注釈を参照

国内唯一のメーカー

——パルスパワーとは？

たとえばカメラのストロボは、目を開けていられないぐらいの強い光を放ちますが、あの光の強さをずっと保ち続けるとすれば、巨大な装置と電力設備が必要になります。ところがシャッターを切る一瞬だけ発光すればよいのであれば装置は手のひらサイズに収まり、乾電池で作動します。このように極めて大きな電力を瞬間的に供給することで、通常では得られないような「強い光」や「強い電磁波」「高温」「高密度」「強電界」「強磁界」など特殊な環境をつくることができます。この超大電力をパルスパワーと呼び、当社ではより大きな電力をより効率的に、よりたくさんの回数をつくり出すための製品を開発・製造し、大学や企業との共同開発や技術支援を行っています。



数十万ボルト、数千アンペアという大電力を用途に合わせて自在に制御する同社のパルス電源。
写真は出力電圧波形をパソコンで自由に変えることができる「スマートパルスパワー電源」

——どんなものに应用されていますか

強いX線でトラック内の積荷を外から透視したり(非破壊検査)、強いビームをガン細胞に当てて消滅させたり、電子や陽子を光の速さ近くまで加速する加速器にもパルスパワーが用いられます。光やX線を出す装置や加速器は大手メーカーがつくっており、それに対して強いパワーを出すための高電圧のパルス電源をつくっているのが当社です。

高電圧パルス電源を専門に扱うメーカーは欧州とアメリカに大きな会社が1社ずつありますが、国内では当社が初めてであり唯一でしょう。食品の殺菌や排ガス、排水の処理、医療からエネルギー

開発まで幅広く応用できる技術ですが、大量生産には向かない分野であり、大きな市場もないため、日本では参入する企業がありませんでした。

産業応用の促進に向けて

——なぜこの分野で起業されたのですか

大学で核融合を研究していた際、日本最大(当時)の加速器用パルス電源をつくることになり、その開発のために草津にある電子機器メーカーに入社しました。無事、開発を終えた後もその会社で研究開発を続け、兵庫県の日本最大のX線自由電子レーザー施設[SACLA]関連の電源なども手掛けてきましたが、管理職になると開発からは離れがちになります。社会に必要なと思う技術があっても、儲けにならないければ会社は認めてくれません。海外メーカーが日本に参入を始め、国内の技術が失われることにも危機感を抱いていました。

そんなとき、妻がプラザの創業塾に申し込んだのですが、都合で途中から参加できなくなるということがありました。仕方なく代打で私が参加したのですが、そこでいろんな人との出会いがあり、それまで考えてもみなかった起業という方法があることに気づいたんです。一念発起して会社を辞め、2009年に創業オフィス^{*1}に入りました。しばらくは、まったく無名でしたが、現在では国内外の有名メーカーなどが草津のテクノファクトリー^{*2}に見学に訪れるようになり、ここ3年は毎年20%ずつ売上を伸ばしています。

——成功の要因は？

これまでパルスパワーの産業応用が進まなかった理由は、技術とコストにありました。非常に高い電圧、大きな電流を使うため、真空管を使った制御が主流だったのですが、真空管では毎秒数千回もの高速切り替えができないため用途に限られます。また、寿命が短く、交換にも手間がかかり、安定して使用することができませんでした。そこで当社は半導体を使ってパルスを出す技術を開発し、長寿命、小型化を実現させました。

理屈から言えば、千ボルトに耐える半導体を100個繋げば10万ボルトの電源ができますが、実際にはそう簡単にはいきません。100個の半導体が同時に安定して作動するためには、半導体をいかに組み合わせて作り込むかという経験と知識が必要です。顧客も大学の研究者や大手メーカーの開発研究部門が中心ですので、どういう目的でパルス電源を使うのか、顧客以上に理解していないと提案できないという難しさもあります。



高い負荷がかかるパルス電源において、真空管に代わり、半導体で精密に制御する技術を確立した

草津をパルスパワーのメッカに

——今後の展望をお聞かせください

当社はファブレス企業ですので、部品の調達、製造は近隣の会社に外注しています。生産量が増えて外注先にも増員をお願いするほどになり、それら进行评估して地域未来牽引企業にも選んでいただけののだと思います。

また、一昨年はサポイン事業^{*3}にも採択され、パルスパワーに特化した半導体デバイスの開発を大学、半導体メーカーと進めています。新たな半導体デバイスが実現できれば、がんの治療用機器などは10分の1ほどに小型化が可能になります。専用の建屋をつくらずとも既設の部屋に設置できるようになり、治療法の普及も進むはずで。また、食品の非加熱殺菌や自動車の自動運転の障害物センサーなど、パルスパワーには有望な市場が広がっています。

当社にしかできない技術で思いもよらなかったことが可能になり、眠っていたニーズを掘り起こすことができれば、きっと世の中にいろいろな貢献ができるはずで。この草津の地が世界のパルスパワー研究のメッカといわれるよう、挑戦を続けていきたいと思っています。

問い合わせ先

(公財)滋賀県産業支援プラザ

経営支援部 創業支援課 担当/佐藤、中村

☎077-511-1412

☎077-511-1418

✉in@shigaplaza.or.jp

ビジネスカフェ in 米原 まいばらデザインスクール 第2期

「コンセプターを育てる」というコンセプト

地域の発信力を高めていくために必要なことの1つに「デザイン」という切り口があります。

本スクールで扱う「デザイン」とはWEBやチラシの作り方の話だけではなく、自社や商品の魅力の切り出し方のこと。自社の魅力がどこにあり、どう伝えると共感を呼び、結果として売れるのか、ということについて具体的なケースで真剣に考えます。

第2期の今回は「コンセプターを育てる」というコンセプトです。デザインやプロモーション全体のことを考えるとき、背骨になるコンセプトが弱いことで伝え方がちぐはぐになってしまうケースが多々あります。これは、発注側だけでなく受託してデザインを創る側にも言えることです。

「コンセプト設計」とはそもそもどういうことか？具体的なケースを用いてこの本質に迫る全3回の講座です。

特にWEBやチラシのデザインスキル、専門ソフトの使用経験・知識はいりません。まず自分の会社や商品をなんとかしたい。そのために素直に学びたいと思っていられる方たちが集まり、共にアウトプットのチカラを高めます。

一人ひとりが能力アップした結果として、お店や会社の売上が上がり、地域全体が盛り上がっていくということをゴールイメージに「まいばらデザインスクール」を開校いたします。



**参加費
無料**

プログラム

第1回	2019年1月21日(月) 18:30~21:00	コンセプターとは何をしているのか 講師 合同会社ゴチャトレディング 代表社員 立澤 竜也 氏
第2回	2019年2月4日(月) 18:30~21:00	コンセプトの作り方① 講師 ANEWAL Gallery 理事 石河 学 氏
第3回	2019年2月18日(月) 18:30~21:00	コンセプトの作り方② 講師 フリーランス、滋賀大学非常勤講師 中塚 智子 氏

場所 隣町パーラー 2階 (米原市下多良1-2米原エンジンビル)

定員 20名 **参加費** 無料

- 参加条件**
- 自分で自分のチカラを身につけたいと思っている方
 - 本スクールで考えたい具体的な案件・テーマをお持ちの方
(なくてもかまいませんが、具体的なテーマがあるとより深く学べます)
- ※デザインの基礎知識やIllustrator / Photoshopの知識などは不要です



主催：(公財)滋賀県産業支援プラザ
共催：滋賀県立文化産業交流会館
協力：株式会社いるあわせ

進行 株式会社いるあわせ代表取締役 北川 雄士 氏
株式会社博報堂でCMの制作営業等を経験の後、ITベンチャー企業の人事部門の責任者として組織づくりや採用、人材開発を経験。2015年10月地元滋賀にUターンして株式会社いるあわせを設立。現在、中小機構や滋賀県とのコラボ事業を多数手がけ、滋賀の魅力を積極的に発信中。

講師 Team coccori 事業代表 市田 恭子 氏
滋賀県生まれ。倉庫で眠っているものや捨てられるものに新たな価値を見つけて市場に出す。ライフワークで障害福祉事業所と商品・店舗開発を展開。現在は、店舗や地域のディレクションをし、滋賀を感じさせるコトをモノに乗せる形づくりをしている。

お問い合わせ

(公財)滋賀県産業支援プラザ 経営支援部 創業支援課 川口・谷口 ☎ 077-511-1412 ☎ 077-511-1418
米原SOHOビジネスオフィス 上林 ☎ 0749-52-9200 ☎ 0749-52-9211

※お申し込みは、滋賀県産業支援プラザのホームページからお願いします。(電話でも受け付けます。)

<http://www.shigaplaza.or.jp/> または検索サイトで **滋賀県産業支援プラザ** (検索) と検索してください。

「しが医工連携ものづくりネットワーク会議」を開催します!

滋賀県産業支援プラザおよび滋賀県では、医療分野への進出に意欲的な企業、大学・試験研究機関、金融機関等による「しが医工連携ものづくりネットワーク」を形成し、医療機器産業の振興に取り組んでおります。

この度、その活動の一環として医工連携による医療機器ビジネスの活性化を目的とした「第20回(平成30年度第2回)しが医工連携ものづくりネットワーク会議」を以下のとおり開催します。どなたでもご参加いただけますので、お気軽にお申込みください。

日時 平成31年2月26日(火)
14:00～17:00(交流会17:15～)

会場 コラボしが21 3階大会議室
滋賀県大津市打出浜2番1号 TEL:077-511-1424

参加費 無料(交流会は参加費1,000円が必要)

主催:(公財)滋賀県産業支援プラザ、滋賀県
後援:滋賀医療機器工業会、滋賀バイオ産業推進機構

参加費
無料



プログラム

時間	内容
14:00～14:05	開会あいさつ
14:05～15:05	講演1 医療機器ビジネスの今 国の政策と業界動向 ～中小企業の視点から～ ひよし かずひこ 【講師】日吉 和彦 氏 [公益財団法人 医療機器センター 医療機器産業研究所 上級研究員]
15:05～15:20	休憩
15:20～16:20	講演2 医療分野で自社のよいところを伝える・見せる かしの としひこ 【講師】柏野 聡彦 氏 [一般社団法人 日本医工ものづくりコモンズ 専務理事]
16:20～17:00	講演3 (ネットワーク会員企業) 東洋化学の事業と最近の取り組み ～貼る技術の展開～ おか けいじ 【講師】岡 京磁 氏 [東洋化学株式会社 代表取締役社長]
17:15～	交流会

※滋賀県産業支援プラザのホームページ(<http://www.shigaplaza.or.jp/h30ikonet2/>)をご確認の上、ホームページからお申込みください。

お問い合わせ

(公財)滋賀県産業支援プラザ
連携推進部 医工・成長産業振興課

☎ 077-511-1424

☎ 077-511-1418

✉ iko@shigaplaza.or.jp

新規取引先開拓、受注開拓のためのビジネスマッチング

事業概要

製造業を対象に、発注を希望する企業には受注企業を、受注を希望する企業には発注企業を無料で紹介し、新規取引機会の拡大をお手伝いします。

また、広く取引先を開拓できるよう、発注企業と受注企業が一堂に会した商談会の開催を行います。

ビジネスマッチングについて

受注企画
(受注の申出)



発注企画
(発注の申出)

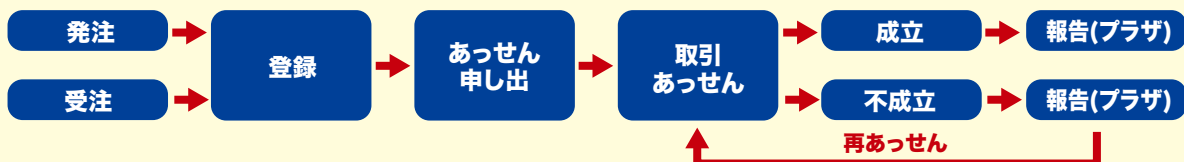
滋賀県産業支援プラザ

商談会

個別
あっせん

- ・県内に事業所を有する中小企業(受注企業)
- ・登録費用、あっせん手数料【無料】

マッチングまでの流れ



商談会や個別商談の事例企業

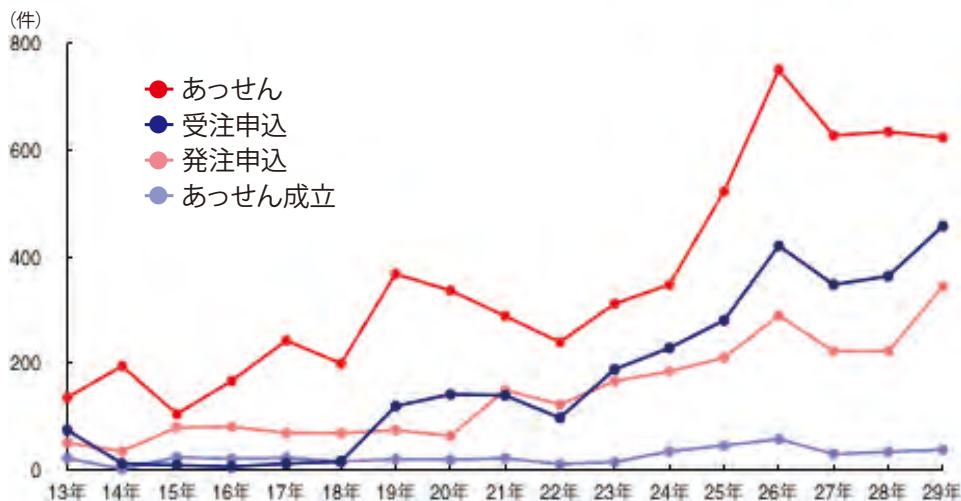
- 商談会をきっかけに、継続的な訪問を重ね、取引成立ができました。
- 通常であれば門前払いの企業でも、商談会で面談することができる貴重な機会となりました。
- A社より設備の組み立てができる企業の紹介依頼があり、以前から組立の仕事を探しているB社に紹介をしたところ現在も継続的な取引となっています。



商談会の風景

これまでの受発注申込状況

- ・26年度は不景気で参加企業が多かった。
- ・合同商談会の回数が増えてきている。



今年度の取り組み

商談会一覧

開催日時	開催場所	商談会名	発注企業数	受注企業数
平成30年 7月11日	琵琶湖ホテル(大津市)	しがビジネスマッチング会in大津	11社	27社
9月6日、7日	彦根ビューホテル (彦根市)	しがビジネスマッチング会	25社	85社
9月18日	マイドームおおさか (大阪市)	モノづくり受発注広域商談会	91社	284社
平成31年 1月24日	滋賀県立文化産業交流会館 (米原市)	滋賀・三重・岐阜 「モノづくり商談会inSHIGA」	53社	93社
2月14日、15日	京都パルスプラザ (京都市)	近畿・四国合同商談会	142社	366社

今年度の新しい取り組み

『しがビジネスマッチング会』を開催！



しがビジネスマッチング会風景

県内中小企業の受注機会拡大と新規取引先開拓を図るため、県内外の発注企業との新規取引のきっかけづくりを目的に、滋賀中央信用金庫と(公財)滋賀県産業支援プラザが連携した商談会を初めて開催しました。

新たな来場者・参加者の開拓や、それに伴うマッチングの促進など、双方にとって高い相乗効果が得られました。面談件数は135件あり、プラザ単独開催時の倍増となり、併せて受注登録企業申請も増えました。

また、面談結果では、「具体的な商談ができた」「今後のきっかけがくれた」と回答した発注企業、受注企業が8割を占めました。

概要

- 対象 当プラザに登録している滋賀県内のモノづくり中小企業
滋賀中央信用金庫が推薦する滋賀県内の中小企業
- 実施方法 発注企業と受注企業による個別面談
- 開催日時 平成30年9月6日(木)～9月7日(金) 10:30～16:00
- 開催場所 彦根ビューホテル(彦根市松原町網代口1435-91)

5.結果

発注企業数	25社
受注企業数	85社
面談件数	135商談
見積・図面検討及び後日折衝	42%

お問い合わせ

(公財)滋賀県産業支援プラザ
経営支援部 販路開拓課

☎077-511-1413

☎077-511-1418

✉hanro@shigaplaza.or.jp

コラボしが21 展示ギャラリー 展示企業募集

産業支援プラザでは、中小企業やベンチャー企業の製品やサービス、技術等を紹介し、販路拡大、技術交流の促進を図る場として、無料でご利用いただける展示ギャラリーをコラボしが21の1階に設けています。ぜひ、積極的にご活用ください。



対象となる方

滋賀県内に事業所を持つ中小企業・団体
(自社のPR、販路拡大、技術交流などビジネス拡大の意図をもった展示内容であること)

使用料
無料

運用基準

展示期間	1ヶ月 (次予約がない場合、2ヶ月まで延長可)	備品等	・可動パーティション(W900ミリ) 12 ・ハンガーセット・フック ・展示台(W900×D600×H730 ミリ) 11 ・サインスタンド 6 ・イベントスタンド 1
展示時間	午前9時から午後5時30分まで (休日は、土、日、祝日、年末年始およびプラザが定める日)		
住所	〒520-0806 大津市打出浜2番1号 コラボしが21 1階	運営	管理人・案内人は置かない (展示品の破損、汚損、逸失等の責は負わない)
展示面積	約50平方メートル (約7m×7m) 天上高 3.45メートル	広報	・滋賀県内マスコミ28社(新聞社、放送局)に資料提供 ・プラザホームページとメールマガジンに掲載

展示申込

以下の書類を提出してください。

- 「展示ギャラリー申込書兼備品借用書」 <http://www.shigaplaza.or.jp/tenji/> からダウンロードできます
- 展示内容がわかる資料(パンフレット、ホームページのプリントアウトなど)

お問い合わせ

(公財)滋賀県産業支援プラザ

総務企画部 情報企画課 担当/井上・市原 ☎077-511-1411 ☎077-511-1418 ✉jouhou@shigaplaza.or.jp

滋賀県よろず支援拠点 インフォメーション

直近のセミナー案内

平成31年
2/21(木)
13:30 ~

元気な会社にはワケがある

～取材で見つけた「あいうえお経営」～

場所：
コラボしが21



講師 日本一明るい経済新聞 編集長
(有)産業情報化新聞社 代表取締役
竹原信夫 氏

厳しい時期こそ、明るい経営を実践することが重要です。年間500社を超える取材を行い、「日本一明るい経済新聞」の発行と毎日放送ラジオで「日本一明るい経済電波新聞」を通じて人気の竹原信夫氏にお越しいただき、明るい経営のノウハウを数々紹介していただき、中小企業者・小規模事業者の活性化を目的とするセミナーです。

【講師プロフィール】

昭和23年大阪府生まれ。昭和46年現フジサンケイビジネスアイに入社、平成9年2月から平成12年10月末まで大阪経済部長、平成13年1月から独立、産業情報化新聞社代表。年間500人の中小企業経営者に取材、月刊誌「日本一明るい経済新聞」を発行する。毎日新聞紙面研究会研究員(2008年度)、大阪商工会議所会員紙「大商ニュース(日本一明るい企業情報)」編集協力
・吉本お笑い総合研究所コンサルティングフェロー ・四条畷学院大学 ・短期大学客員教授 ・大阪大学大学院非常勤講師

滋賀県よろず支援拠点スタッフ



相談
無料

経営のお悩みを、
一緒に解決しましょう!!
私達が全力でサポートします!



コーディネーター 西山彰子

これから起業・創業を考えておられる方は気軽にお越しください。

アドバイス内容

- 起業・創業
- 生産管理
- 販売管理

資格及びキャリア

- ファイナンシャル・プランナー (CFP®認定者)



チーフコーディネーター 井上 則男

ひとりで悩まず気軽にご相談ください。

アドバイス内容

- 事業戦略
- 資金計画
- 起業・創業
- 事業承継

資格及びキャリア

- 地域金融機関で支援業務や
コンサルタント業務に携わる



コーディネーター 池淵ゆかり

ビジネスモデルデザインは「なんとなく頭の中にある構想」を描くファーストステップです。創業や新事業の計画作成でお悩みの方はご相談下さい。

アドバイス内容

- 経営改善
- 人事・労務
- 事業計画作成支援(起業・創業含む)
- 商品コンセプトのブラッシュアップ

資格及びキャリア

- 中小企業診断士



コーディネーター 中村嘉造

中小企業者、小規模事業者の悩み解決をお手伝いします。

アドバイス内容

- 財務(税務)
- 起業・創業
- 事業承継

資格及びキャリア

- 税理士



コーディネーター 住田 崇

インバウンド市場のインバウンドを滋賀の地域経済活性化へつなげたいと強く思っております。

アドバイス内容

- マーケティング戦略
- WEB制作
- インバウンド市場開拓

資格及びキャリア

- ビジネス英語・中国語
- 株式会社化への起業経験



コーディネーター 片桐かほり

無駄にお金をかけない、集客力があり売上アップにつながるお店作りのお手伝いをしています。

アドバイス内容

- 商品陳列コーディネーター
- 店舗改善(改装、デザイン、配置等)
- ビジネスメール

資格及びキャリア

- カラーコーディネーター
- インテリアコーディネーター
- 日本ビジネスメール協会認定講師



コーディネーター 松尾裕司

企業や商品の価値を見つけ出し、プレスリリース・ダイレクトメール等の様々な手法を駆使して売上げを上げるお手伝いをしています。

アドバイス内容

- ブランディング
- 販路開拓
- 販売促進
- 新商品開発

資格及びキャリア

- インキューションマネージャー



コーディネーター 山本治広

経営を見直したい方は是非ご相談ください。

アドバイス内容

- 経営改善計画策定
- 起業・創業
- 事業承継

資格及びキャリア

- 中小企業診断士



コーディネーター 友成真一

海外との取引でお悩み事があればご相談ください。

アドバイス内容

- 海外ビジネス(輸出入)の進め方
- 貿易実務全般
- 貿易書類の書き方

資格及びキャリア

- 貿易アドバイザー協会 会員
- (AIBA貿易実務検定試験合格者)

お問い合わせ

(公財)滋賀県産業支援プラザ
滋賀県よろず支援拠点

☎ 077-511-1425

☎ 077-511-1418

✉ yorozu@shigaplaza.or.jp

頑張る企業を 応援します!

- 経営課題に対応した相談や専門家を派遣します。
- 販路の開拓やマッチングを支援します。
- 産学官金の連携をコーディネートします。
- 起業・創業のお手伝いをします。
- 企業の情報化を支援します。
- 企業の人材育成を支援します。



専門家派遣



出張相談会



交流会



展示ギャラリー



産学官金連携



ビジネスカフェ



ビジネスマッチング



インストラクター養成



公益財団法人

滋賀県産業支援プラザ

〒520-0806 滋賀県大津市打出浜2-1 コラボしが21(2階)

TEL:077-511-1410 (代表) / FAX:077-511-1418 (共通)

【E-mail】info@shigaplaza.or.jp 【URL】www.shigaplaza.or.jp

■JR琵琶湖線(東海道線)「大津」駅より徒歩20分、バス約7分、「膳所」駅より徒歩約15分

■京阪電鉄「石場」駅より徒歩3分(JR膳所駅、JR石山駅乗り換え)



【編集後記】 今回の特集で取り上げた「地域未来牽引企業」は、いずれも地域の特性を生かして高い付加価値を創出し、地域の経済成長を力強く牽引することが期待されている企業です。誌面ではごく一部の紹介となりましたが、滋賀県にはそうした魅力的な企業がたくさんあり、活発に活動されていることをあらためて認識しました。地方創生の中核として、地域の未来を担うこれらのお会社に、これからも大きな声援を送りたいと思います。